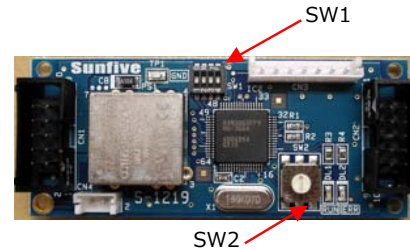
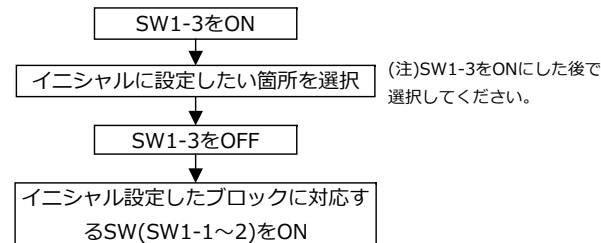


MP-801,802 プログラマブル I/O ボード 標準ファームウェア仕様書(Ver1.2)

mode	入力	1	2	3	4	5	6	7	8	
0		チャタリング除去のみ								1出力
1		択一選択①								1出力
2		択一選択1①				択一選択2②				1出力
3		択一選択1①								2出力 (* 1)
4		択一選択1①								
5		択一選択1①								2出力 (* 3)
6		FF	FF	FF	FF					FF
7		FF	FF	FF	FF					2出力 (* 1)
		①								
8		FF	FF	FF	FF					2出力 (* 2)
		①								
9		択一選択①								E
A										
B										
C										
D										
E										
F										



※ イニシャル設定方法



※ イニシャル/最終状態保存選択方法

設定SW	処理ブロック	
SW1-1	左表中①	左記のSWをONすることにより、SWに対応したブロックが起動時にイニシャル値を取ることが可能になります。OFFの場合は最終状態の保存値で起動します。
SW1-2	左表中②	

■ モードの設定は SW2で行います。

■ SW1-1~2にて上表の①~②各々にイニシャル/最終状態保存の設定が可能です。

ON : 起動時にイニシャル設定された値を読み込み。 OFF : 起動時に最終状態の保存値を読み込み。

最終状態は、最後に出力が変化してから 5 秒間出力が変化しない状態が続いたときに保存されます。

■ SW1-3をONでイニシャル設定モード。

SW1-3をONにした後、イニシャルをセットしてください。

(SW1-3がONになった後の出力の変化がイニシャル設定としてセーブされます)

■ SW1-4 ① ONで択一選択部分が2度押しOFF付になります(モード5を除く・基板一括設定)

② ONでパルス出力のパルス幅が400msに、OFFで200msになります(モード5のみ・基板一括設定)

■ 2出力 (* 1) OUT1~4はラッチ出力。 OUT5~8はラッチ出力。

■ 2出力 (* 2) OUT1~4はラッチ出力。 OUT5~8は周期1secのブリンク出力。

■ 2出力 (* 3) OUT1~4はラッチ出力。 OUT5~8はOUT1~4の↓タイミングと同期した 1 パルスを出力。(パルス幅400ms/200ms)